



交通安全だより

第75号 平成25年1月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>



新年あけましておめでとうございます。平成25年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより、札幌市の交通安全運動の推進につきまして格別のご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、平成24年の札幌市内における交通事故による死者数は、昨年比べて6人増加の28人となりましたが、人身交通事故の発生件数は691件減の6,647件、傷者数は834人減の7,656人となり、ともに7年連続の減少となりました。

当推進委員会といたしましては、これまで交通安全教育や各種の取り組みにより交通安全意識の啓発に努めて参りましたが、このように交通事故自体が約1割減少したことにつきましては、関係団体や地域の皆様方の交通安全活動への積極的な取り組みの成果であると確信しております。

しかし、死者数に関しては増加しており、依然として高齢者が被害となる痛ましい事故も多く発生している事態であります。

交通事故は極めて身近な出来事であり、自分や家族が被害者にも加害者にもなりうるということを、市民の皆様一人ひとりに自覚していただくことが重要であると考えております。当推進委員会といたしましては、本年も安全で安心なまちづくりを目指し、交通安全意識を強く持っていただけるよう、全力を挙げて交通事故防止に取り組んで参りますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。

札幌市交通安全運動推進委員会 会長 上田 文雄

平成24年中の札幌市交通事故発生状況

死者数: 28人(前年比+6人)

発生件数: 6,647件(前年比-691件) 負傷者数: 7,656人(前年比-834人)

(※発生件数・負傷者数は概数)

【平成24年中の死亡事故の特徴(死者28人中)】

●人対車両・車両単独が多い

類型別では、人対車両・車両単独ともに8人(29%)で最も多く、類型全体の半数以上を占める。

●前方不注意による事故が多い

第一当事者の違反別では、前方不注意が6人(21%)で最も多く、次いで歩行者妨害・過労運転がそれぞれ3人(11%)となっている。また、酒酔いが2人(7%)と、依然として後を絶たない。

●高齢者の死者が多い

65歳以上の死者が11人(39%)と多く、このうち歩行中が6人(55%)となっている。

●40歳代の運転者によるものが多い

第一当事者の年齢別では40歳代の運転者が7人、次いで25～29歳・60～64歳の運転者がそれぞれ4人と続く。



【区別死者数】

区	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
死者数	4	4	4	4	0	2	1	5	1	3	28
前年比	1	-2	1	0	0	-1	1	2	1	3	6

【月別死者数】

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	3	0	0	0	6	3	0	5	3	3	4	1	28
前年比	2	-1	-2	-1	5	2	-2	1	0	-1	3	0	6